

市政一般質問発言通告書 (会派代表 (個人))

令和 8 年 2 月 19 日



多治見市議会議員 様

会派名 新生自民

3番議員 氏名 葉狩 拓也

<p>質問題名</p>	<p>投票しやすい環境整備について</p>
<p>質問要旨</p>	<p>2月^に実施された衆議院議員総選挙では、わずかに投票率の上昇は見られたものの、長期的に続いてきた低投票率の傾向は依然改善されていない。一方で、期日前投票の利用が過去最多となるなど、有権者の投票行動が大きく変化していることが明らかになった。当市においても、投票所のアクセス性、若年層の投票機会確保、高齢者や移動困難者への配慮、投票所運営の効率化など、投票環境に関する課題が顕在化している。</p> <p>来年には統一地方選挙が予定されており、地方自治体として、投票しやすい環境を整備することは、民主主義の根幹を支える重要な行政責務である。特に、投票所の配置や期日前投票所の在り方、移動投票所の導入可能性、投票済証の活用などは、市独自の判断で改善に取り組める余地が大きく、来年の統一地方選挙を見据えて、今から準備を進めることが極めて重要である。</p> <p>選挙は市民にとって最も身近な政治参加の機会であり、その投票環境の質は、投票率や市政への信頼にも直結する。こうした観点から、当市の現状と今後の方針について、以下の点を質問する。</p>
<p>質問項目①</p>	<p>期日前投票所の今後について</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年、全国的に期日前投票の利用率が増加している中、当市では今後も従来どおり2箇所^の設置で十分と考えているのか。 利用者数の推移、混雑状況、地理的偏在などを踏まえ、増設や配置見直しの検討状況は。
<p>質問項目②</p>	<p>移動投票所の導入について</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年、多治見市が導入した移動型行政サービス車「マルモビ」を活用し、移動投票所を設置することについての見解は。 高校、大学、高齢者施設、商業施設など、投票機会の拡大が期待される場所での実施可能性について検討状況は。

質問項目③	<p>投票所の見直し手順と権限について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 地域によっては、投票所の立地、スペース不足、駐車場の確保など課題が指摘されていると思うが、当市内で課題のある投票所の現状認識と、今後の見直しの方針は。 • 投票所の新設・移転・廃止は、どの機関の権限で、どのような手順で行われるのか。
質問項目④	<p>投票済証のデザイン活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 当市の投票済証は非常にシンプルだが、他市では地域の魅力発信につながるデザインや、若者向けの工夫が見られる。今後検討していく予定はあるか。 • 市のPRや広報活動と連携したデザインの導入について、見解は。
質問項目⑤	<p>投票時の本人確認方法と二重投票対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 現在、投票には選挙通知書と本人確認書類が不要であるが、これによる弊害やリスクをどのように認識しているか。 • 当市における二重投票の発生状況と、その際の具体的な対応手順は。 • 本人確認方法は国の制度であり、市単独で変更できないと承知しているが、当市としては現行制度の改善や見直しについて、国に対してどのような方向性が望ましいと考えているのか。
質問の相手方	総務部長